

の厳しい競争を余儀なくされることとなります。生産現場には不安と怒りの声が届いでいます。加えて、農業者の営農意欲の減退も懸念されます。

これからも農業に携わる組合員の視点を真摯に受け止め、活動していきたいと思えます。JAいわき市は平成28年3月1日をもって郡山市、たむら、いわき中部、ふたばと合併します。新JAの名称は福島さへら農業協同組合となります。

今年はその年、今まで以上に良き年でありますように祈念申し上げ、新年のあいさついたします。



JAいわき市青年連盟委員長

小野 善一

新年おめでとうございます。日頃よりJA並びに組合員の皆様には、農青連活動に対し大いなるご協力を賜り、厚く感謝申し上げます。

さて、東日本大震災から5年になろうとする今もなお、原発事故による風評被害はなくなっておりません。加えてTPP交渉の大筋合意です。「米など重要5品目は守る」などの国会決議の順守を求めている我々の期待を裏切る内容です。地域

社会を支える若手農業者として、全国の盟友と行動を共にし、難しい局面を切り拓いていく覚悟です。

3月1日には、合併してJA福島さくら青年連盟が誕生します。今までの活動はJA福島さくら・いわき地区青年連盟として継続していきます。地区からは2人の委員が本部にいき、連携していきます。支部から地区、本部、福島県、東北・北海道、全国へと活動の範囲は広がっていきます。

合併しても、女性部と手を取り合って地域を輝かせていきます。農青連活動により一層のご協力をお願いしますとともに、皆さまの今年1年が輝かしい年になりますように心よりお祈り申し上げて、新年のあいさついたします。



JAいわき市女性部部长

草野 京子

新年明けましておめでとうございます。日頃より、皆様には女性部活動にご理解にご協力を頂き、心より感謝申し上げます。部員の皆様には様々な事業、活動にご参加いただき本当にありがとうございます。

健康寿命100歳プロジェクトの「100歳弁当」コンテストでは味や見栄えはもちろん、旬の食材を使った各支部自慢のお弁当が展覧されます。また、毎年7月に行なわれる女性部大会・家の光大会には家の光に連載のハンドメイド作品を作って会場に展示しております。手作りの作品もだんだん数が増えてきております。これからも部員皆様の作品を楽しみにしておりますので、よろしくお申し込み申し上げます。

昨年は女性部、仲間作りに重点を置き女性大学(サンシャインカレッジ)を開校し、いわき市内の若い女性を対象に、農業や健康、生活、地産地消、食育など5回の講座を行いました。第4回の健康教室では、女性部活動の「いきいきウオーキング」にまさり女性部と楽しく交流し、気持ちよい汗を流しました。今年度も部員の拡充と加入促進を進めてまいります。

3月には福島県内4つの新JAが誕生します。私たちJAいわき市も郡山市、たむら、ふたば、いわき中部が合併し「JA福島さくら」となり新しい組織、新しい仲間が出来ます。これからもJA女性組織を次代へ継ぐ魅力的な活動を行い、多くの仲間を増やしていきたいと思えます。

また、女性組織の3カ年計画の基本方針「JA女性 踏み出す勇氣 学びつ・伝えよう・地域とともに」の実践初年度となり、学習活動を進め、さまざまな活動に取り組んでまいりますので、これからも皆様のご協力をよろしくお申し込み申し上げます。



代表監事

小松 高



常務理事

山口 榮



常務理事

水野谷 正憲



代表理事常務

片寄 利剛